（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	お出かけをもっと楽しく、もっと便利に事業
事業主体 （連絡先）	生坂村 東筑摩郡生坂村 5493-2
事業区分	（２）保健・医療・福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	８３９，５９２　円（うち支援金：　６７１，０００　円）

事 業 内 容

当村は近隣市町村まで行くための移動サービスについて、乗り方や乗り継ぎ方がわからない人が多く、外出を控えている現状があった。

このような状況から、社会的孤立の防止、社会性の維持、ひきこもりの防止、介護予防を見据え、現役世代に将来的な移動手段として捉えてもらうため、移動サービスの情報を分かりやすく発信するためのツールづくりとして事業を実施。

・映像作成（デマンドバスの乗り方）
・ホームページ作成（村と近隣の公共交通の周知）
・乗り物お出かけ体験ツアー
・モバイルスタンプラリー

【映像作成の様子】

【目標・ねらい】

村内の移動サービスについての周知・広報
（１）映像作成
（２）ホームページ作成

事 業 効 果

（１）今まで利用の仕方が分かりづらかった村営デマンドバスの利用方法について、１．基本編、２．予約・利用編に分けて映像化することで、具体的に利用方法を周知することができた。

（２）スマートフォンやパソコンで村内外の移動サービスについて確認することができ、予約もしやすくなった。時刻表についても最新のものを閲覧できるため、バスの乗車計画が立てやすい。また、社協の有償運送も紹介しており、下肢筋力の低下で公共交通の利用が難しい方にとっても選択肢の一つとして検討することができる。

※自己評価【　Ｃ　】

【理由】
・会議を通しての決定事項が多く、事業の進行が遅れた。
・イベントの実施方法等について工夫・検討が必要だった。

今後の取り組み

今回は、村営デマンドバスの利用方法に焦点を絞った映像となったが、買い物や受診時に必要となる周辺自治体へのバスの利用方法を具体的に映像化していきたい。

また、ツアー等の日時をこちらで指定するのではなく、利用者ごとの外出予定に合わせ初めてのバスの体験ができるよう、乗り物お出かけサポート支援として行いたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある